

議事要旨

会議名	令和元年度第1回芦屋中央病院評価委員会	会場	芦屋町役場 3階31会議室			
日時	令和元年7月11日(木) 午後2時～午後4時10分					
件名・議題	1. 開会 2. 議題 (1) 業務実績報告書(法人の自己評価)について ①平成30事業年度における業務実績報告書 ②第1期中期目標期間における業務実績報告書 3. その他 (1) 今後の開催日程 4. 閉会					
委員等の出欠	委員長	山口 徹也	出	オブザーバー (病院)	櫻井 俊弘	出
	副委員長	松田 晋哉	欠	オブザーバー (病院)	井下 俊一	出
	委員	江川 万千代	出	オブザーバー (病院)	森田 幸次	出
	委員	貞安 孝夫	出	オブザーバー (病院)	竹井 安子	出
	委員	中山 顯兒	欠	オブザーバー (病院)	檜田 房男	出
	委員	内海 猛年	出	オブザーバー (病院)	中野 悟子	出
	事務局	藤永 詩乃美	出	オブザーバー (病院)	市村 修	出
	事務局	有田 昌子	出	オブザーバー (病院)	坂本 林太郎	出
	事務局	尾崎 彩華	出			
合意・決定事項	・芦屋中央病院から平成30事業年度業務実績報告書及び第1期中期目標期間業務実績報告書の報告を受け、委員の意見を期日までに提出することとなった。					

○開会

- ・事務局より今年度のスケジュールについて説明。
- ・病院より近況について説明。

○議題（1）業務実績報告書（法人の自己評価）について

①平成30事業年度における業務実績報告書

②第1期中期目標期間における業務実績報告書

- ・芦屋中央病院より、「資料2、資料3-1」について説明。

（第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス）

（病院） （1）地域医療の維持及び向上について、30事業年度は、前年度と同様のⅣとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

（病院） （2）在宅医療及び介護までの総合的なサービスの提供について、30事業年度は、前年度と同様のⅣとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

（病院） （3）地域医療連携の推進について、30事業年度は、前年度はⅢ、今年度はⅣとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価はⅢ、今年度はⅣとした。

（病院） （4）救急医療への取組について、30事業年度は、前年度と同様のⅢとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅢとした。

（病院） （5）災害時等における医療協力について、30事業年度は、前年度と同様のⅣとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

（病院） （6）予防医療への取組について、30事業年度は、前年度と同様のⅢとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅢとした。

（病院） （7）地域包括ケアの推進について、30事業年度は、前年度と同様のⅣとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

（第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 医療の質の向上）

（病院） （1）医療従事者の確保について、30事業年度は、前年度はⅤ、今年度はⅣとした。

第1期中期目標期間について、見込み評価はⅤ、今年度はⅣとした。

- (病院) (2) 医療安全対策の徹底について、30 事業年度は、前年度はⅣ、今年度はⅤとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価はⅣ、今年度はⅤとした。
- (病院) (3) 計画的な医療機器の整備について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。
- (病院) (4) 第三者評価機関による評価について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

(第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 患者サービスの向上)

- (病院) (1) 患者中心の医療の提供について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。
- (病院) (2) 快適性の向上について、30 事業年度は、前年度と同様のⅤとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅤとした。
- (病院) (3) 相談窓口の充実について、30 事業年度は、前年度と同様のⅤとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅤとした。
- (病院) (4) 職員の接遇向上について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。
- (病院) (5) 地域住民への医療情報の提供について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

(第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 4 法令遵守と情報公開)

- (病院) 4 法令遵守と情報公開について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第 1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。
- (委員) 30 事業年度の P21、インシデント報告が 433 件から 1132 件と大幅に増えているが、どの部署が増えたのか。
- (病院) 今までほとんど出ていなかったコメディカルのレントゲン科、栄養科、リハ

ペリ科が意識的にインシデントを報告するようになった。また、インシデントレポートの様式を看護部と同じ様式にしたことで、出しやすくなった。

(委員長) 人によって報告件数の偏りはあるのか。

(病院) 人によって極端な偏りはない。

(委員長) インシデント報告を集めて、分析やデータベース化することができると良いと思う。

医師がインシデント報告をあげる工夫はあるか。

(病院) 医師の意識改革しかないと思う。ヒューマンエラーの集積は財産になる。

(委員長) 報告書は紙ベースか。書く時間がないのではないか。

(病院) 紙でもパソコンでも作成できる。忙しい部署にはクラークを配置しているので、時間の問題ではなく、意識の問題だと思う。

医師も組織の一員という意識付けをこれからしていかなければならない。

(委員) 30 事業年度の P24、医療の質の向上について、ISO9001 を医療の質を図る一つの指標としているが、医療の質というのは、安全・安心、インフォームドコンセントやセカンドオピニオンがなされているかなどを考えていた。

P25 の各部署の良い取組というのは、どういうものか。

(病院) ISO9001 の基準の中で改善した取組のことである。

(委員) 30 事業年度の P3、FPT 会議の FPT とは何か。

(病院) フューチャープランニングチームという若手が将来について語り合う会議で、造語である。

(委員) 30 事業年度の P16、予防医療への取組の指標について、計画と実績を比較すると、ほとんどマイナスになっている。計画の設定が高いのではないか。数字の根拠は何か。

(病院) 当時の健診担当者から出た数字である。

(委員) 根拠がはっきりしない計画で、逆に評価が下がってしまう。今後は根拠のある数字を計画に挙げる方が良い。

(委員) 30 事業年度の P15、企業健診や協会けんぽの受診件数は増えている。これだけ増えているのに、今回の指標からすると評価はⅢになっている。第 2 期中期計画では企業健診の件数を指標としているが、31 年度の件数が増えていないと、また評価はⅢになる。努力して成果がでていのに、評価に表せないのは残念である。

(委員) 30 事業年度の P29、相談窓口の充実について、相談件数は 29 年度より 2,155 件増、計画では 2,223 件増となっている。しかし、参考資料 3-1 の P9、参考資料 3-2 の P9 では、相談窓口を利用したことがないという回答が多い。相談を受けた方は、どういう方々か。

(病院) アンケート自体は病院に来る患者を対象としている。相談件数には、入院中

の方の退院支援に関する相談や、ご家族による当院への転院相談などが入っている。

(委員) 実態を見た時にこの相談窓口が有効活用されているかは、疑問に思う。

(病院) 実態を詳しく調査して、次回にお知らせしたい。

(委員長) 議会はこの評価結果をどう見ているのか。

(委員) 評価に対して、特に意見は出ていない。院外薬局の話は出ている。患者満足度調査結果も良い結果が出ていると思う。

(委員長) 院外薬局について、誤解を受けないために説明する義務は病院にあると思うので、ホームページや広報誌や病院内での掲示でお知らせしてはいかがか。

(病院) 院外薬局について、病院の広報誌のかけはしでお知らせはしたが、かけはし自体もあまり見られていない。

(委員長) 不満に対して、対処できるものに対しては、対処しているという姿勢を見せることは、どんなサービス業でも大事なことだと思う。

(委員長) アンケートに関して、アンケート結果を開示するだけでなく、結果を受けてアクションに回らないといけないと思う。アクションに回るようなアンケート設定になっているか。また、アンケート結果を生かせるような総括がいただけると良い。

(病院) アンケート結果に対して、病院の意見を述べると良くないのではないか。

(委員長) アンケート結果は開示して良いが、アンケート結果を受けてどうするかは、病院の組織として総括した方が良い。

(病院) 今後の課題としたい。

(委員長) 参考資料 2 の評価実施要領について確認。委員からの意見は、次年度以降にこういう計画を設定してほしいというような具体的なものさしをコメントの中に入れていただきたい。

(委員長) 30 事業年度の P2、全体的な状況について、医療従事者が 29 人増員となっているが、純増か。

(病院) 純増である。減員分を加味している。

(委員長) 30 事業年度の P11、法人の自己評価はⅢからⅣに上がっている。入院の紹介率について、29 年度と 30 年度の実績を比較すると 3.6%増加しているが、30 年度計画を下回っている。この計画の設定は今後どのように見込む予定か。

(病院) 入院紹介率について、30 年度計画は 40%、30 年度実績は 26.4%で、令和元年度は地域包括ケア病床の整備により、多くはなると思う。

(委員) 何か根拠のある数字を計画にあげたほうが判断しやすいと思う。

(委員長) 30 事業年度の P41、収入の確保について、法人の自己評価はⅢからⅣにあがっている。参考資料 3-2 の患者満足度調査で、若松区の患者が 15%となっている。少ない印象だがいかがか。

(病院) 若松区、八幡西区からの患者を確保していくことは重要であり、まだ足りていないとは思っている。芦屋中央病院の規模の病院は若松区方面にもないので、確保できなければ、成功とは言えないと思っている。
駐車場や診療スペースの問題などの制限はあるが、比較的空いている午後の時間帯に来ていただくような取組は、今後の課題だと思っている。

(第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 法人運営管理体制の確立)

(病院) 法人運営管理体制の確立について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

(第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 2 業務運営の改善と効率化)

(病院) (1) 人事考課制度の導入について、30 事業年度は、前年度と同様のⅢとした。
第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅢとした。

(病院) (2) 予算の弾力化について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

(病院) (3) 適切かつ弾力的な人員配置について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。
第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

(病院) (4) 研修制度の推進について、30 事業年度は、前年度と同様のⅣとした。第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅣとした。

(第3 財政内容の改善に関する事項 1 持続可能な経営基盤の確立)

(病院) (1) 健全な経営の維持について、30 事業年度は、前年度と同様のⅢとした。第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅢとした。

(病院) (2) 収入の確保について、30 事業年度は、前年度はⅢ、30 年度はⅣとした。
第1 期中期目標期間について、見込み評価はⅢ、今年度はⅣとした。

(病院) (3) 支出の節減について、30 事業年度は、前年度と同様のⅢとした。第1 期中期目標期間について、見込み評価と同様のⅢとした。

(委員) 30 事業年度の P38、研修制度の推進について、e-ラーニングの研修内容について、教えてほしい。

(病院) 次回の会議で資料を提供する。

○その他

・今後の開催日程について説明

(閉会)